

平成18年度環境管理計画(永田町・立川事務所)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	計画との差	結果
用紙使用量の削減 永田町 (kg)	計画	0	47.5	110.9	158.4	47.5	114.8	205.9	43.6	165.3	99	88.1	231.7	1312.7		
	実績	0	143	88	66	163.8	240	44	66	132	88	112	156	1298.8	+ 13.9kg	
用紙使用量の削減 立川 (kg)	計画	0	0	34.6	0	0	19.8	0	0	34.7	0	19.8	0	108.9		
	実績	0	11	11	22	0	11	0	0	11	0	11	0	77	+ 31.9kg	合計 1375.8
電気使用量の削減 永田町 (kwh)	計画	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握	データ把握		
	実績	2,420	2,310	2,330	2,020	2,850	4,860	5,710	3,270	3,010	2,310	2,210	2,690	35,990	-	データ把握 35,990kwh
電気使用量の削減 立川 (kwh)	計画	4148.1	2907.6	1165.2	1199.9	2271.1	2683.9	2480	1304.9	1909.7	3494.7	3887.7	4080.8	31,533.5		
	実績	3,849	2,926	1,420	1,131	2,391	2,975	2,682	1,300	1,587	3,448	3,632	3,582	30,923	+ 610.5kwh	目標達成 2.9%削減
グリーン購入の推進 (%)	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50		
	実績	82.4	87.5	87.5	85.7	92.3	100.0	80.0	100.0	100.0	85.7	100.0	100.0	90.4	+ 40.4%	目標達成
環境配慮型商品の斡旋 (件)	計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5		
	実績	0	2	1	4	0	8	2	0	3	1	1	2	24	+ 19件	目標達成
環境コミュニケーションの充実 (件)	計画	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
	実績	1	2	2	1	1	2	2	1	2	2	5	1	22		目標達成

(達成手段)

○用紙使用量の削減

- ・内部資料は両面コピーを原則とする
- ・片面使用済の用紙は×印をして所定の回収箱にいれパソコンプリンター用紙として再利用する
- ・パソコン画面上での文書校正を徹底する
- ・資料等の作成部数の最小限化を徹底する
- ・用紙使用量削減の達成手段をメールで全職員へ周知する

○電気使用量の削減

- ・各部屋で未使用の時間帯は消灯する
- ・残業時の必要最小限点灯を徹底する
- ・長時間離席する場合はパソコンの電源を切る
- ・クールビズ等を推進し過剰な冷暖房を控える

○グリーン購入の推進

- ・用紙、文具類、OA関連品等の購入は、環境配慮型仕様商品とする(納入業者との取り決め)

○環境配慮型商品の斡旋

- ・組合員には環境配慮型商品を積極的にPRする
- ・組合や支部での各種会議の際に環境配慮型商品をPRする
- ・新規に環境配慮型商品の斡旋を提案する

○環境コミュニケーションの充実

- ・環境方針及びISO活動内容を文書やホームページで積極的にPRする(毎月1件以上)
- ・外部環境コミュニケーション記録を記録表に記載する
- ・内部環境コミュニケーション記録を記録表に記載する
- ・組合員向けについては内部環境コミュニケーション記録に記載する

(当組合が取扱う環境配慮型商品)

- 地球温暖化、大気汚染、水質汚濁、生態系への影響、廃棄物の増大等の多様な環境負荷項目等に配慮を行っている商品
- ・東石斡旋品(ペーパーリカバリー装置、油吸着剤、SS土壌調査及び浄化事業、節水バルブ)
- ・全石斡旋品(リサイクルトナーカートリッジ、地化タンクのFRP加工、インスタント・ウインドウワッシャー・タブレット、スモークダッシュ)
- ・新規(ECO通気CO)
- ※毎月の実績を全職員へメールにて徹底する

+ は計画達成上乗せ分です。

△ は計画未達分です。